

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 137・138号

2015/5/18 発行
株式会社 立花商店
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願ひ致します。

1、市況の動き：両市場とも続伸

① 最高7月 LDN 市場£ 2,068 /7月 NY 市場\$ 3,133 (5/15) 先週比 LDN **+46** / NY **+188**

② 最低：7月 LDN 市場£ 2,016 /7月 NY 市場\$ 3,006 (5/11) 先週比 LDN **+29** / NY **+131**

週内価格差額 (①-②) : LDN 市場£ 52 (傾向↑) / NY 市場\$ 127 (傾向↑)

週内建玉推移 : LDN 市場 270,899 枚(5/8 終了時) ⇒ 260,855 枚 (5/14 終了時) **-10,044 枚**

NY 市場 196,229 枚(5/8 終了時) ⇒ 203,222 枚 (5/14 終了時) **+6,993 枚**

	2015/5/11(月)		2015/5/12(火)		2015/5/13(水)		2015/5/14(木)		2015/5/15(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
5-Jul	2016	3006	2030	3037	2035	3056	2049	3088	2068	3133
5-Sep	1998	2991	2011	3025	2019	3046	2031	3075	2053	3119
5-Dec	1978	2976	1990	3011	1997	3032	2007	3060	2028	3103

11日、イギリス選挙によりポンドは対ドルで2%以上、対ユーロで3%以上も上昇という逆風の中、ロンドン価格はテクニカルな買いが入り金曜日の下げ幅をカバーして2018ポンドで引けた。

NY 価格もテクニカル買いとシステム買いにより2%も上昇した。

12日、ロンドン市場は積極的な投機筋の買いが入り9週間ぶりの高値を付けた。

またファンダメンタルズ要因としてはガーナの生産下落が挙げられ、この影響でここ3週間の相場上昇をもたらしているといえる。

15日、両市場ともに5日続伸。特にNY 価格は取引価格が3100ドルを超えて7か月ぶりの高値を更新。

2、アジア：摩砕業者は取引の活性化を求めてレシオを下げる(5/8)

○ココアバターレシオ：1.85-1.95

○ココアパウダー：\$2000-\$2500

アジアの摩砕業者はカカオ豆の価格上昇分を、レシオを下げることで相殺させ販売を促そうと試みているが、それでもなお需要が弱く在庫がはけない日々が続き頭を抱えている状況だ。

シンガポールのトレーダーは「カカオ豆価格が上昇したために、バターの取引価格も高くなってしまった。しかしそれではバターの買い手が見つからないことを我々は分かっている。そこで摩砕業者や輸出業者はレシオを下げる方法をとっている。」と述べた。

先月 1.95-1.98 であったアジアのバターレシオは今週、1.85-1.95 に下がった。一方でパウダーの取引価格は \$2000-\$2300 から上昇し \$2000-\$2500 となった。

アジアにおける摩砕量は昨年より 9.3%下落しているが、カカオ豆価格は上昇している。

トレーダーは「カカオ豆の供給は増えているのに、最終ユーザーの反応が悪くあまり動きが良くない。レシオを下げているがバターやパウダー、チョコレートに対する需要は依然として弱い。ただし今のところは、摩砕量の低下はそこまで我々のビジネスに大きな影響を与えてはいない。」と述べた。

カカオ豆価格の上昇、在庫の積み増し、長引く需要の低下という様々な要因が合わさり、今年の摩砕業者の売り上げの見通しは暗いものになりそうだ。

一部の摩砕業者は、インドネシア産のカカオ豆を比較的安く抑えており有利なポジションをとっている。

世界第3位のカカオ豆産地であるインドネシアでは、マイナスのディファレンシャルで取引されている。インドネシアの摩砕業者にとっては、こうした安いカカオ豆を使うことが出来るのでまだ救われているという。

インドネシア最大のカカオ産地であるスラウェシ島では、4月のカカオ豆輸出量は昨年の 3867.43 トンから 56%も下落し 1718.88 トンとなった。またランブン島では 66%の下落となった。

また、ガーナでの予期せぬ生産量低下によってカカオ豆価格が上昇し、ロンドン先物価格は3月以降で6%近く上昇した。

3、ガーナ：カカオ豆の不作により売り上げにダメージ(5/7)

世界第2位のカカオ豆生産国であるガーナでは、メインクロップの収穫量低下により何とか契約数量を出荷し契約を履行しようと動いており、こうした不作によりカカオ豆の国際市場価格が上昇している。

農家によるとガーナ豆の不作は農薬の不足や悪天候とされてるが、予期せぬ生産量の低下は世界の大手チョコレートメーカーにカカオ豆の不足をもたらす可能性がある。

政府からの情報によると、2014/15期のガーナの生産量は Cocobod の当初の見込みであった 100 万トンよりもはるかに少ない 70 万トンすら超えないだろうという。

またある担当者は「カカオ豆の収穫量が大幅に低下している。どんなに頑張っても 69 万～70 万トンとなるだろう。」と述べている。ちなみに 2014/14期のガーナの生産量は 90 万トンであった。

ガーナで 17 万 4000 人のカカオ農家を束ねている農家の代表は「今年は、農家全員が悲しい思いをしている。ここしばらくの間、これほどまでも収穫量が低下した経験はない。」と述べた。

また欧州のトレーダーは「この不作はガーナが 15 万～20 万トンのカカオ豆を供給できないことを意味しており、契約不履行分の数量を次のミッドクロップに回す必要がある。」と述べた。

ガーナのカカオ豆は政府機関である Cocoa Marketing Company(CMC)により、世界中の取引参加者に販売される。CMC は今現在も、既契約のカカオ豆が出荷できずにいる状況だ。

カカオ豆先物価格は、ガーナの収穫量下落が、他の国でも 2014/15 期のカカオ豆生産量が低下するのではとの懸念につながり、高騰し始めた。実際にロンドン先物価格は 2 週間で 5%上昇した。

あるトレーダーは「多くの人々はこの供給不足を信じられないでいる。今はまだ 70 万トンの収穫量を見込んでいるが、もしも供給不足が積み重なった場合には、さらにロンドン先物価格が 100 ポンド上昇することも考えられる。」と述べている。

ガーナ豆の供給不足は世界中のトレーダーや、リンツ社のように原料を高品質なガーナ産カカオに頼っているメーカーに深刻な問題を与える。一部のトレーダーは欧州に眠るガーナ豆の在庫を探し求めて動き回っている。

ガーナ経済は金、カカオ、油によって急激に成長したが、商品価格が下落した影響で、政府の財政状況は悪化している状況であることも問題といえる。

4、アイボリー：2014/15 期の収穫量、昨年の記録に達するか(5/13)

世界最大のカカオ産地のアイボリーは昨年の収穫量である 174 万トンに到達しようとしている。

担当者は「もともとは 160 万トンと予測をしていたが、ここにきて昨年の記録と同じ水準を期待できるようになってきた。またアイボリーでは新たな農園が収穫を開始し始めたことにより、2 年後には約 180 万トンに伸びるだろう。」と述べた。

4 月 30 日までに港に着荷したカカオ豆の数量は 134 万 7944 トンに達し、昨年の 133 万 75 トンよりもわずかに上昇している。アイボリーは次のシーズンに、農家への最低保証価格を少なくとも k g あたり \$1.54(900CFA)上げることができそうだ。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp